

**SOUNDING BIRD-REPELLER OF PET BOTTLE**

Patent Number: JP11089506  
Publication date: 1999-04-06  
Inventor(s): HASHIZUME TERUO  
Applicant(s): HASHIZUME TERUO  
Requested Patent: ☐ JP11089506  
Application Number: JP19970320284 19970923  
Priority Number(s):  
IPC Classification: A01M29/02; A01M29/00  
EC Classification:  
Equivalents:

---

**Abstract**

---

**PROBLEM TO BE SOLVED:** To provide a bird-repeller capable of repelling birds in fields, plowlands, and garbage deposit places.

**SOLUTION:** This bird-repeller is obtained by making fans 6, concave windmills 1, and a sea eagle's beaklike form 4 of a PET bottle material, the repeller comprising a U-shaped iron member 9 for producing a noise in a breast section 2 and a rectangular iron member 10 hanging above the U-shaped iron member 9 and designed to strike on an iron-mover 13 when rotated, wherein the U-shaped iron member 9 hits against the rectangular iron member 10 by its own swinging action and thereby causes to rise a noise.

---

Data supplied from the esp@cenet database - I2

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平11-89506

(43) 公開日 平成11年(1999) 4月6日

(51) Int.Cl. <sup>4</sup>	識別記号	F I	
A 0 1 M 29/02		A 0 1 M 29/02	A
29/00		29/00	B
審査請求 未請求 請求項の数1 書面 (全 4 頁)			
(21) 出願番号	特願平9-320284	(71) 出願人	396017877
(22) 出願日	平成9年(1997) 9月23日		橋爪 輝男
			大阪府吹田市山田南20番11号
		(72) 発明者	橋爪 輝男
			大阪府吹田市山田南20番11号

(54) 【発明の名称】 ペットボトルによる音出し鳥追い払い器

(57) 【要約】

【目的】 田、畑、ゴミ置場の鳥を追いかう

【構成】 ペットボトルを使用して大形鳥のオジロワシのように嘴(4)、上羽(6)、下羽(10)目(5)笛(3)を付け回転する事で、音を出す。 以上の構成による。

## 【特許請求の範囲】

ペットボトルで羽形(6)、凹形風車(1)オジロワシの嘴形(4)を作り、胸部(2)の中に音が、出るように、U形鉄筋(9)にして、その上から直形鉄筋(10)を、ぶら下げて、回転すると鉄筋動かし(13)に当るようにして、U形鉄筋(9)が、ゆれる事で、直形鉄筋(10)と当り、音を出すようにした。ペットボトルによる音出し鳥追い払い器

## 【発明の詳細な説明】

(産業上の利用分野) この考案は、上空から見ると、オジロワシが、嘴を開き、羽を広げ、するどい目で見える。田、畑などの鳥を追ひ払う事に関するものである。

(従来の技術) 網、風船に目を付けた物が有る

(考案が、解決しようとする課題) 広い、田、畑に網を、かける作業は、大変な重労働で有る、本案は、これらの欠点を除くために、なされたもので有る。

(課題を解決するための手段) ペットボトルを、オジロワシのように、ペンキで焦茶色に塗り、凹形風車(1)に、目のように黒色のビニールを、上、下、横、後に貼る。鈴(3)も黒色にして、凹形風車(1)を黒を、のこして、黄色にする、オジロワシの嘴形(4)を取り付け、U形鉄筋(9)と直形鉄筋(10)が、ぶつかり合う音で、鳥を、おどろかして追ひ払う。取り付ける作業も上から見える、ように吊るすだけで、有るから簡単で有る。

(作用) 風力により、凹形風車(1)が回り、それに付いている胸部(2)を回し、鉄筋動かし(13)により、U形鉄筋(9)と直形鉄筋(10)を動かし、鉄筋同士が、ゆれて当り、音を出す。回転する事で羽形(6)がゆれて飛んでいるように見える

(実施例) 以下本案の実施例について説明する。ペットボトルの底を、切り取り、18枚になるように下から、胸部(2)にむけて切り、18枚になった羽形(6)を、上に折り曲げる。本体が、できた後、凹形風車(1)を作る、ペットボトルのそそぎ口と羽形(6)になる部分を切り取り、そそぎ口を切った所と、上、下、横を黒のビニールで貼り付ける、鈴をぶら下げため穴を開け、鈴を黒く塗り、ぶら下げ回りを黄色に塗る。ペ

ットボトルの胸部(2)になる所を、1cm幅に輪切りにして、それを凹形風車接着輪(12)として、凹形風車(1)を正反対にして接着する。それを上から胸部(2)の止まる所まで通す。次にオジロワシの嘴形(4)を作る、ペットボトルのそそぎ口(14)と羽形(6)になる所を切り取り胸部(2)、上から4等分で切り、それを、オジロワシの嘴形(4)に作り、オジロワシの嘴形(4)を本体の胸部(2)の上部にオジロワシの嘴形(4)に合わせて切り口を入れ、その切り口に差しこむその後、接着する。鉄筋動かし(13)は、1cm幅に輪切りにした物を3等分で切り、本体の胸部(2)の下部に切り口を入れ差しこみ接着する。胸部(2)の中に音を出す装置として鉄筋工事で使用される鉄筋をU形にして鉄筋工事で使用される結束線(8)を、下から固定具(11)で固定した直形鉄筋(10)が、斜めに、なるように結び、それを、U形鉄筋(9)の中心に、1回転させて結び、ドリル、穴を開けた、ペットボトルのフタ(7)を通し、本体の胸部(2)の中から、そそぎ口(14)を通し輪を作る。なを、実施態様には、次のような物が有る

(イ) 胸部(2)や羽形(6)の色として、羽の絵、やアニメやタコの絵を書く方法

(ロ) 固定具(11)は、現在市販されているホースとガス口をぬけないように固定する器具を用する方法

(ハ) 回転する方法として乾電池とモーターを使用して回転させる方法

(ニ) U形鉄筋(9)、直形鉄筋(10)、結束線(8)にサビ止めを塗る方法

(ホ) オジロワシの嘴形(4)を、オレンジ色に塗る方法などがある。

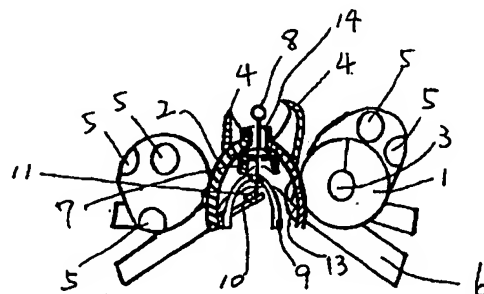
## 【図面の簡単な説明】

第1図は本案の斜視図

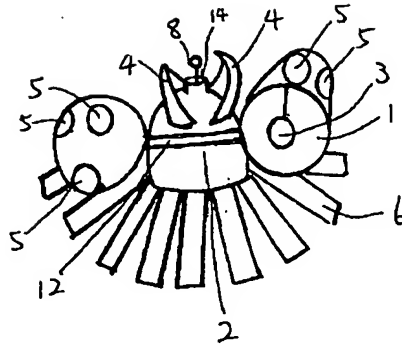
第2図は本案の一部切り開いた断面図

(1)は、凹形風車(2)は胸部(3)は鈴(4)はオジロワシの嘴形(5)は黒色(6)は羽形(7)はフタ(8)は結束線(9)はU形鉄筋(10)は直形鉄筋(11)は固定具(12)は凹形風車接着輪(13)は鉄筋動かし(14)は、そそぎ口

【第2図】



【第1図】



## 【手続補正書】

【提出日】平成9年11月7日

## 【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正内容】

【書類名】明細書

【発明の名称】 ペットボトルによる音出し鳥追い払い器

## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 笛付きペットボトルによる音出し鳥追い払い器

【請求項2】 二枚羽付きペットボトルによる音出し鳥追い払い器

## 【発明の詳細な説明】

1、考案の名称  
ペットボトルによる音出し鳥追い払い器

2、特許登録請求の範囲

1、二枚羽(6)(10)を付けたペットボトルによる音出し鳥追い払い器

2、笛(3)を付けたペットボトルによる音出し鳥追い払い器

3、考案の詳細な説明(産業上の利用分野)

この考案は、風を利用して、回転する事で、二枚の羽が、ぶつかり合い、羽ばたく音を出して、笛を鳴らし田、畑、ゴミ置場の鳥を追いかける事に関するもので有る。

(従来の技術) 網、風船に目を付けた物が有る

(考案が、解決しようとする課題) 生ゴミ置場では、カラスなどが、食いちらかすため汚い。本案はこれらの欠点を除くため、なされたもので有る

(課題を解決するための手段) ペットボトルを、オジロ

ワシのように、ペンキで焦茶色に塗り凹形風車(1)に目のように、丸く黒色を、上、下、横、後に塗る。笛(3)も黒く塗り、下羽(10)を白く塗り、オジロワシの嘴形(4)を取り付け、音を出して鳥を追いかける。取り付け、作業も吊るすだけで有るから簡単

(作用) 風力により、凹形風車(1)が、回り、それに付いている胸部(2)を回し、風入り口(9)より風が入り笛(3)を鳴らす。二枚の羽上羽(6)下羽(10)が、ぶつかり合い羽ばたく音を出す。

(実施例) 以下本案の実施例について説明する。ペットボトルの底を切り取り、18枚になるように下から胸部(2)に、むけて切り、上羽(6)を、上に折り曲げる。中心に穴を開け結束線で下から通し下羽(10)、上羽(6)を通しそそぎ口(14)に通して吊るす。なを実施態様には、次のような物が有る

(イ) 笛は現在市販されている、立笛、ホイッスル、玩具で振ると筒の中に風が入り筒の中の笛が移動して鳴る物が有る。

## 【図面の簡単な説明】

【図1】 本案の斜視図

【図2】 本案の一部切り開いた断面図

## 【符号の説明】

(1)は、凹形風車、(2)は胸部(3)は笛(4)は嘴(5)は黒色(6)は上羽(7)はフタ(8)は結束線(9)は風入り口(10)は下羽(12)は凹形風車接着輪(14)はそそぎ口(15)は底

## 【手続補正2】

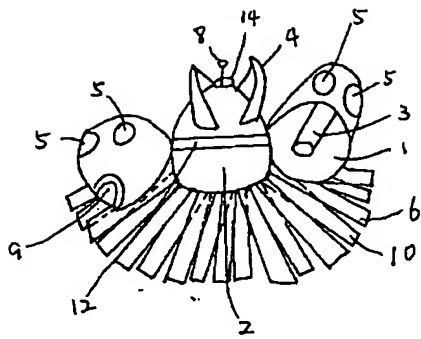
【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】全図

【補正方法】変更

【補正内容】

【図1】



【図2】

